

2025年12月15日
日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかな回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費は、物価上昇等の影響を受けつつ、底堅く推移している。設備投資は、非製造業を中心に増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。

県内製造業の生産は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

この間、各国の通商政策等の影響を受けて、輸出関連企業を中心に受注・生産面や収益面等への下押し圧力がみられている。先行きについても、各国の通商政策等の影響を受けた海外の経済・物価動向を巡る不確実性はなお高い状況が続いていることから、当地の金融経済情勢に与える影響を注視していく必要がある。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、物価上昇等の影響を受けつつ、底堅く推移している。

百貨店・スーパー売上高は、物価上昇等の影響を受けつつ、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、持ち直している。家電販売は、持ち直しつつある。主要観光地への入り込みは、高水準となっている。

設備投資は、非製造業を中心に増加している。

12月短観調査における2025年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加見込みとなっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、緩やかに増加している。

(2) 生産

県内製造業の生産は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。

主要業種の生産動向をみると、輸送用機械は、回復している。電気機械は、A I 関連需要等を背景に、緩やかに持ち直している。はん用・生産用・業務用機械は、米国の関税引き上げ等の影響を受けて、一部に弱めの動きがみられている。鉄鋼は、国内の輸送用機械向けは堅調となっている一方、中国経済の改善ペース鈍化等の影響を受けて、横ばい圏内の動きとなっている。化学は、中国経済の改善ペース鈍化等の影響から、弱めの動きが続いている。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

(4) 物価

消費者物価(岡山市、生鮮食品を除く総合)の前年比は、3%程度となっている。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利は、幾分上昇しているが、引き続き低水準で推移している。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1

日本銀行岡山支店総務課 電話 086-227-5111 (代表)

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>

知るぽると
岡山はこちら!!

